

楽しいご飯

川戸小 四年 大庭 征晃

ぼくはご飯が大好きだ。白いお米のご飯もいいが、ぼくが一番大好きなご飯はたきこみご飯だ。

たきこみご飯の中で一番好きなのはサンプのたきこみご飯だ。作り方は意外とかんずらしい。まず最初にお米をといで、次にだしじるとしょう油、酒、みりん、しおを入れる。しょうかのせん切りを入れてかきませた上に

サンプを半分に切ったものをのせて、すい飯器のスイッチを入れる。たき上がったら、サンプをそっと皿に取り出し、ほねや頭を取る。身は大きくほぐしておかまにもどしかきませる。お茶あんについだらゴマと切ったねぎをかけて完成。

ご飯一粒一粒にサンプのおいしさがしみこんでいる。秋のごちそうだ。ぼくはお母さんに

今日は何を食べたい。

と聞かれると秋は決まっ

ッサンマのたきこみご飯^い。

と答える。

サンマの他にもやいたたいをたきこむたい飯も大好きだ。これはおばあちゃんのとく意料理だ。

おばあちゃんのちらしずしもおいしい。かためにたいたご飯をすし飯にし、ごぼうやにんじん、しいたけ、とり肉、あぶらあげなどをにた具をまぜる。かざりにあなごやきんしたまご、いんげん、でんぶなどをのせる。何度もおかおりましたくなる。

お盆やお正月などに、いとこやおじさん達が来てみんなでごちそうを食べる時、主役は手まきずしだ。みんなばマグロやサーモン、ねぎトロなどおさし身をまいて食べている。ぼくはおさし身が苦手なのであなごやきゅうり、てりやき、納豆などをまいて食べている。のりのかおり、ご飯、具のおいしさガロの中にいっぺんにやってくる。おさしぶりに会っ

たいと二達といっしよに食べるとおりしさが倍になる。

ぼくの家では、たん生日には赤飯とたいのしおやきを作る。ぼくもお姉さんもお母のたん生日からずつと作ってもらっている。あずきをたしるでもち米でたくので、きれいな色のご飯になる。あずきからこんなにきれいな色が出るなんておどろく。ぼくの入学式の日も、赤飯でおいおいしてもらった。

こうしてふり返ってみるとお米、ご飯はぼ

く達の生活を楽しくしてくれるものであることにあるため気づいた。これからあずきとぼくはご飯が大好きだろう。ぼくもいつかおいしい料理を作れるようになって今度はぼくがみんなを笑顔にしたい。